



平成 21 年 8 月 24 日

各 位

株 式 会 社 I H I
東京都江東区豊洲三丁目 1 番 1 号
代表取締役社長 釜 和明
(コード番号 7013)
問合せ先 広報・IR 室長 竹園 良雄
T E L 0 3 - 6 2 0 4 - 7 0 3 0

株 式 会 社 栗 本 鐵 工 所
大阪府大阪市西区北堀江一丁目 12 番 19 号
代表取締役社長 福井 秀明
(コード番号 5602)
問合せ先 執行役員財務部長 小島 眞也
T E L 0 6 - 6 5 3 8 - 7 7 2 4

松 尾 橋 梁 株 式 会 社
大阪府堺市堺区大浜西町 3 番地
代表取締役社長 臼井 淳
(コード番号 5913)
問合せ先 管理担当執行役員 閑上 進
T E L 0 7 2 - 2 2 3 - 0 9 8 1

橋梁・水門およびその他鋼構造物事業の統合に関するお知らせ

株式会社 IHI (以下「IHI」)、株式会社栗本鐵工所 (以下「栗本」)、および IHI の子会社であります松尾橋梁株式会社 (以下「松尾橋梁」) は、平成 21 年 5 月 18 日付「橋梁・水門及びその他鋼構造物事業の統合に関する基本合意締結のお知らせ」にて公表しておりますとおり、各社が有する橋梁・水門およびその他鋼構造物事業を統合 (以下「本件統合」) することについて基本合意書を締結し、本件統合の方法、条件および時期ならびに本件統合後の事業の詳細等について検討してまいりましたが、これらの具体的内容について、本日、IHI、栗本および松尾橋梁の各取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件統合のうち、IHI による松尾橋梁の 100%子会社化につきましては、松尾橋梁が平成 21 年 7 月 30 日付「定款の一部変更及び全部取得条項付種類株式の取得に関する承認決議及び全部取得条項付種類株式の取得に関する基準日の確定に関するお知らせ」にて公表のとおり、松尾橋梁は平成 21 年 8 月 31 日に上場廃止となる予定です。

記

1. 本件統合の概要

平成 21 年 8 月 24 日 IHI、栗本、松尾橋梁、株式会社クリモトテクノス (以下「クリモトテクノス」)、株式会社イスミック (以下「イスミック」) および栗本橋梁エンジニアリング株式会社 (以下「栗本エンジ」) における取締役会

平成 21 年 8 月 24 日	IHI, 栗本, 松尾橋梁, クリモテクノス, イスマックおよび栗本エンジニア間での包括契約書締結 IHI と栗本間での株式譲渡契約書締結 IHI と松尾橋梁間での吸収分割契約書締結 栗本と松尾橋梁間での事業譲渡契約書締結 クリモテクノス, イスマックおよび松尾橋梁間での事業譲渡契約書締結
平成 21 年 8 月 28 日	IHI による子会社の異動を伴う栗本からの栗本エンジ株式の取得 IHI が, 栗本より栗本の 100%子会社である栗本エンジの発行済株式の全部を譲り受け, 栗本エンジを 100%子会社とします。
平成 21 年 8 月 28 日	松尾橋梁と栗本エンジニア間での吸収合併契約書締結
平成 21 年 9 月 4 日 ~ 平成 21 年 10 月末日	松尾橋梁による全部取得条項付種類株式の取得, IHI による松尾橋梁の 100% 子会社化 松尾橋梁が平成 21 年 7 月 30 日付「定款の一部変更及び全部取得条項付種類株式の取得に関する承認決議及び全部取得条項付種類株式の取得に関する基準日の確定に関するお知らせ」にて公表のとおり, 平成 21 年 9 月 4 日に松尾橋梁による全部取得条項付種類株式の取得および A 種種類株式交付が行なわれた後, 会社法の規定に基づく手続を経て, 平成 21 年 10 月末日までに, IHI が松尾橋梁を 100%子会社とする予定です。
平成 21 年 11 月 1 日	IHI と IHI の 100% 子会社である松尾橋梁との吸収分割 IHI を吸収分割会社, 松尾橋梁を吸収分割承継会社とする吸収分割により, IHI の橋梁・水門その他鋼構造物事業およびこれらのメンテナンス事業に関して有する権利義務を松尾橋梁に承継させます。
平成 21 年 11 月 1 日	松尾橋梁と栗本エンジニアとの吸収合併 松尾橋梁を吸収合併存続会社, 栗本エンジを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ないます。
平成 22 年 1 月 1 日	栗本による水門等事業の松尾橋梁への事業譲渡 栗本の水門, 鋼管, 水管橋事業およびこれに付帯する事業(以下併せて「水門等事業」)を, 松尾橋梁に事業譲渡します。
平成 22 年 1 月 1 日	クリモテクノスによる水門メンテナンス事業のイスマックへの事業譲渡 栗本の 100%子会社であるクリモテクノスの水門のメンテナンス事業およびこれに付帯する事業(以下「水門メンテナンス事業」)を, IHI の 100%子会社であるイスマックに事業譲渡します。
平成 22 年 3 月 31 日	クリモテクノスによる橋梁メンテナンス事業のイスマックへの事業譲渡 クリモテクノスの橋梁のメンテナンス事業およびこれに付帯する事業(以下「橋梁メンテナンス事業」, 水門メンテナンス事業と併せて「メンテナンス事業」)を, イスマックに事業譲渡します。
平成 22 年 3 月 31 日	クリモテクノスによる裏面吸音板事業の松尾橋梁への事業譲渡

クリモトテクノスの裏面吸音板に関する事業およびこれに付帯する事業（以下併せて「裏面吸音板事業」）を、松尾橋梁に事業譲渡します。

平成 21 年 5 月 18 日付「橋梁・水門及びその他鋼構造物事業の統合に関する基本合意締結のお知らせ」にて、本件統合の完了を平成 21 年 10 月 1 日と予定しておりましたが、上記のスケジュールとなりました。

添付資料も併せてご参照ください。

2. 本件統合の目的

国内の橋梁・水門市場の最近の動向は、公共事業の発注量・金額がともに抑制される傾向が継続しており、今後の市場動向につきましても先行き不透明な状況であります。

橋梁業界では大手重工メーカーの撤退等があったものの、縮小した市場規模に比べ、依然として企業数が多い状況が続いております。各社は生き残りをかけ、規模に見合った利益を追求するために、生産体制の再構築を行なう一方で、いくつかの企業は業務提携等を実施し、グループ化を目指した動きが活発になってきております。しかし、各社とも未だ本格的な統合には至っていないことから、今後もこれらの動きがますます活発になると予想されております。一方、公共工事発注システムは、コスト競争力だけでなく品質を含む技術競争力を要求する総合評価方式が一般的となった結果、エンジニアリング力による差別化が進んできております。

このような背景のもと、IHIによる松尾橋梁および栗本に対しての呼びかけを機に、平成 20 年 12 月頃より IHI および松尾橋梁の 2 社間で統合の検討を開始いたしました。その後、平成 21 年 4 月に入り栗本からの参画表明を受け、IHI、松尾橋梁および栗本の 3 社間で事業統合についての具体的なスキームの検討を開始しました。

IHI は総合エンジニアリング企業としての技術力、調達力に強みを有しております。他方、松尾橋梁および栗本エンジは橋梁専門メーカーとしてコスト競争力のある生産拠点に強みを有しており、両社は大阪府堺市において隣接した工場を保有しております。両社は平成 20 年 7 月に「栗本橋梁エンジニアリング株式会社と松尾橋梁株式会社の工場ヤードの共同利用等に関する合意のお知らせ」を公表しており、これら 2 工場の生産設備を統合、整備、強化することに加えて、IHI の技術力、調達力を発揮することで更なる生産性の向上と生産能力の増大を図ることが可能と判断しました。

国民の安全を守る治水事業の一翼を担う水門事業は、更新期を迎えた設備の維持、交換等を適切に行なっていく必要があり、事業者は今まで培ってきた技術、生産ノウハウを堅持・継続することが求められております。一方、水門の新設にかかる市場規模が大きく減少する中、大手重工メーカーの撤退等により企業数が減少してきております。

このような背景のもと、水門事業で常にトップグループに位置する IHI および栗本は、これらの社会的要求に応えるため、これまでも如何に事業を継続していくかという課題に各々取り組んでまいりました。平成 21 年 4 月以降、橋梁事業に加えて水門事業についても事業統合の可能性について検討を重ねた結果、かつて水門の生産工場として活用され、水門事業に

関する生産設備，ノウハウを有する栗本エンジ大阪臨海工場を両社の水門製作の拠点とすることで，これらの社会的要求に応えかつ事業を継続していくことが可能との判断に至りました。

平成21年5月18日付「橋梁・水門及びその他鋼構造物事業の統合に関する基本合意締結のお知らせ」で開示しましたとおり，IHI，栗本および松尾橋梁間で基本合意書を締結し，具体的な協議を続けてきた結果，本日最終契約書の締結に至りました。

以上のように，橋梁事業におけるIHI，松尾橋梁および栗本エンジの3社間での事業統合，水門事業におけるIHIおよび栗本の2社間での事業統合を行なうことで，コスト競争力と技術力の向上を同時に達成することが可能と判断しました。また，各社の経験豊富な技術者が集結することにより技術開発力の向上と受注機会が拡大するなどのシナジー効果を発揮していき，橋梁・水門業界におけるトップクラスの地位確立と更なる成長戦略の実現を目指してまいります。

3. 本件統合の要旨

(1) IHIによる子会社の異動を伴う栗本からの栗本エンジ株式の取得

1 日程

株式譲渡契約書締結の取締役会決議，株式譲渡契約書締結（IHI，栗本）

平成21年8月24日

株式譲渡の実行

平成21年8月28日（予定）

2 異動する子会社（栗本エンジ）の概要

栗本エンジの概要は，「4. 本件統合の当事会社の概要」をご参照ください。

3 異動株式数，取得（譲渡）価額および異動前後の所有株式の状況

i) 栗本の譲渡株式数，譲渡価額および異動前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	40,001株	（議決権の数：40,001個） （所有割合：100.0%）
譲渡株式数	40,001株	（議決権の数：40,001個） （譲渡価額：3,000百万円）
異動後の所有株式数	-株	（議決権の数：-個） （所有割合：-%）

ii) IHIの取得株式数，取得価額および異動前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	-株	（議決権の数：-個） （所有割合：-%）
取得株式数	40,001株	（議決権の数：40,001個） （取得価額：3,000百万円）
異動後の所有株式数	40,001株	（議決権の数：40,001個） （所有割合：100.0%）

(2) **IHI と IHI の 100%子会社である松尾橋梁との吸収分割** (以下「本分割」)

1 日程

吸収分割契約書承認取締役会，吸収分割契約書締結 (IHI，松尾橋梁)

平成 21 年 8 月 24 日

吸収分割の効力発生日

平成 21 年 11 月 1 日 (予定)

IHI は，会社法第 784 条第 3 項に定める簡易分割の規定により，松尾橋梁は，会社法第 796 条第 3 項に定める簡易分割の規定により，それぞれ吸収分割契約書に関する株主総会の承認を得ません。

2 本分割の方式

IHI を吸収分割会社，松尾橋梁を吸収分割承継会社とする吸収分割です。なお，松尾橋梁は，上記のとおり平成 21 年 10 月末日までに IHI の 100%子会社となる予定であり，本分割に際し，松尾橋梁から IHI に対して株式その他の金銭等の割当ては行ないません。

3 本分割に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

IHI が発行している新株予約権について，本分割による影響はありません。また，IHI は新株予約権付社債を発行しておりません。

4 本分割により増減する資本金

本分割により IHI において減少する資本金はなく，また松尾橋梁において増加する資本金はありません。

5 承継会社が承継する権利義務

松尾橋梁は，以下 7 i) 記載の事業に関連する資産，負債，権利義務，契約上の地位を承継します。ただし，当該事業と当該事業以外の IHI の事業に共通して適用される契約，当該事業に従事する従業員との雇用契約に関する契約上の地位および権利義務は承継しません。なお，IHI から松尾橋梁に対する債務の承継については，原則として免責的債務引受の方法によります。

6 債務履行の見込み

IHI および松尾橋梁は，いずれも資産が負債を上回っており，本分割後もその履行を担保するに足る責任財産を有しているとともに，収益状況についても，負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態が現在のところ想定されていないことから，分割期後のそれぞれの債務の履行にも問題はないものと判断しております。

7 分割する事業部門の概要

i) 分割する部門の事業内容

橋梁・水門その他鋼構造物の設計，製造および販売ならびにこれらのメンテナンス

ii) 分割する部門の経営成績

(単位：百万円)

	分割部門 (a)	21 年 3 月期実績 (b)	比率 (a/b)
売 上 高	19,470	728,672	2.7%

iii) 分割する資産，負債の項目および金額

平成 21 年 6 月 30 日現在の試算で資産 19,302 百万円，負債 19,133 百万円です。

(3) 松尾橋梁と栗本エンジとの吸収合併（以下「本合併」）

1 日程

合併契約書承認取締役会	（松尾橋梁）	平成 21 年 8 月 24 日
	（栗本Iﾝｼﾞ）	平成 21 年 8 月 28 日（予定）
合併契約書締結	（松尾橋梁，栗本Iﾝｼﾞ）	平成 21 年 8 月 28 日（予定）
合併契約書承認臨時株主総会	（栗本Iﾝｼﾞ）	平成 21 年 9 月 17 日（予定）
合併の効力発生日		平成 21 年 11 月 1 日（予定）

松尾橋梁は、会社法第 796 条第 3 項に定める簡易合併の規定により、合併契約書に関する株主総会の承認を得ません。

2 合併方式

松尾橋梁を吸収合併存続会社、栗本エンジを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式で、栗本エンジは解散します。なお、松尾橋梁・栗本エンジはいずれも IHI の 100%子会社となる予定であり、本合併に際し、松尾橋梁から栗本エンジの株主（IHI）に対して株式その他の金銭等の割当ては行ないません。

3 吸収合併消滅会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

栗本エンジは、新株予約権および新株予約権付社債を発行しておりません。

(4) 栗本による水門等事業の松尾橋梁への事業譲渡

1 日程

事業譲渡契約書締結の取締役会決議、事業譲渡契約書締結（栗本，松尾橋梁）	平成 21 年 8 月 24 日
事業譲渡の実行	平成 22 年 1 月 1 日（予定）

栗本は、会社法第 467 条第 1 項第 2 号括弧書きに定める簡易事業譲渡の規定により、事業譲渡契約書に関する株主総会の承認を得ません。

2 事業譲渡の概要

i) 水門等事業の内容

水門，鋼管，水管橋の設計，製造および販売およびこれに付帯する事業

ii) 水門等事業の経営成績

（単位：百万円）

	水門等事業 (a)	21 年 3 月期実績 (b)	比率 (a / b)
売上高	4,343	158,563	2.73%

iii) 譲渡価額

100 百万円

(5) クリモテクノスによるメンテナンス事業のイスミックへの事業譲渡，
クリモテクノスによる裏面吸音板事業の松尾橋梁への事業譲渡

1 日程

事業譲渡契約書締結の取締役会決議，事業譲渡契約書締結（クリテクノス，イミック，松尾橋梁）

平成 21 年 8 月 24 日

事業譲渡の実行（水門メンテナンス事業）平成 22 年 1 月 1 日（予定）

（橋梁メンテナンス事業）平成 22 年 3 月 31 日（予定）

（裏面吸音板事業）平成 22 年 3 月 31 日（予定）

2 事業譲渡の概要

i) メンテナンス事業・裏面吸音板事業の内容

水門および橋梁のメンテナンスおよびこれらに付帯する事業

裏面吸音板の設計，製造，販売およびこれらに付帯する事業

ii) メンテナンス事業・裏面吸音板事業の経営成績

（単位：百万円）

	譲渡事業 (a)	21 年 3 月期実績 (b)	比率 (a/b)
売上高	2,842	6,042	47.03%

iii) 譲渡価額

100 百万円

4. 本件統合の当事会社の概要（平成 21 年 3 月 31 日現在）

(1) 商号	株式会社 IHI	株式会社栗本鐵工所	松尾橋梁株式会社
(2) 本店所在地	東京都江東区 豊洲三丁目 1 番 1 号	大阪府大阪市西区 北堀江一丁目 12 番 19 号	大阪府堺市堺区 大浜西町 3 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 釜 和明	代表取締役社長 福井 秀明	代表取締役社長 臼井 淳
(4) 事業内容	金属加工機械，物流機器，ボイラ，原子力機器，化学機械，汎用機械，ジェットエンジン，宇宙機器などの製造，販売等	鉄鋼・鋳鋼関連事業，鋼製構造物・機械関連事業，建築および建築関連事業の製品の製造販売	橋梁および鋼構造物の設計，製作，施工，診断および補修その他の建設工事，土木建築工事の設計監理，防災機器の製造，販売，取付工事および保全，倉庫業等
(5) 資本金	95,762 百万円	31,186 百万円	4,903 百万円
(6) 設立年月日	明治 22 年 1 月 17 日	昭和 9 年 5 月 10 日	大正 14 年 6 月 23 日
(7) 発行済株式総数	1,467,058,482 株	133,984,908 株	33,397,346 株
(8) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日	3 月 31 日
(9) 従業員数	24,348 名(連結)	2,882 名(連結)	300 名(連結)
(10) 主要取引先	防衛省契約本部，(株)東芝	(株)トシマ，岩谷産業(株)	国土交通省(各地方整備局)，各高速道路会社，各地方自治体
(11) 主要取引銀行	(株)みずほコーポレート銀行 (株)三井住友銀行	(株)みずほコーポレート銀行 (株)三井住友銀行	(株)みずほコーポレート銀行 (株)三菱東京 UFJ 銀行
(12) 大株主および持株比率 (注 1)	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口 4G) 3.98%	太陽生命保険(株) 9.02%	(株)IHI 77.69%
	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(中央三井アセット信託銀行再信託分・(株)東芝退職給付信託口) 3.77%	日本生命保険(相) 6.33%	木村 隆男 3.18%
	第一生命保険(相) 3.68%	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) 4.99%	木村環境事業(株) 3.12%
	ユービー・エス・イー・シー・ロンドンアカウント アビ・ビー・セグリティッド クライアント アカウント 3.05%	みずほ信託銀行(株) 3.43%	南原 康則 1.39%
	日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) 2.98%	(株)りそな銀行 3.31%	山田 直邦 1.13%

(13) 当事会社間の関係等	資本関係	イスミックは IHI の連結子会社です。 栗本エンジおよびクリモテクノスは栗本の連結子会社です。 松尾橋梁は平成 21 年 10 月末日までに、IHI の 100%子会社となる予定であり、平成 22 年 3 月期第 3 四半期より IHI の連結子会社とする予定です。								
	人的関係	IHI はイスミックに対して役員の派遣および従業員の出向を行なっています。 栗本は栗本エンジおよびクリモテクノスに対して役員の派遣および従業員の出向を行なっています。								
	取引関係	IHI は栗本との間で、バルブ製品の購入等の取引があります。 IHI は松尾橋梁との間で、平成 20 年度より合成床版の製作等の受注や、鋼製橋梁製作の発注等の取引があります。 栗本は松尾橋梁との間で、鋼製橋梁製作の受注等の取引があります。 松尾橋梁と栗本エンジは、平成 20 年 7 月に、工場ヤードの共同利用等を行なうことにつき合意をしております。								
	関連当事者への該当状況	松尾橋梁およびイスミックは IHI の連結子会社であることから関連当事者に該当します。 栗本エンジおよびクリモテクノスは栗本の連結子会社であることから関連当事者に該当します。								
(14) 最近 3 年間の業績	IHI(連結)			栗本(連結)			松尾橋梁(連結)			
決算期	19年 3月期	20年 3月期	21年 3月期	19年 3月期	20年 3月期	21年 3月期	19年 3月期	20年 3月期	21年 3月期	
売上高 (百万円)	1,221,016	1,350,567	1,388,042	151,371	166,893	158,563	15,365	17,012	19,074	
営業利益 (百万円)	5,626	16,807	25,679	1,070	1,918	2,589	2,605	23	331	
経常利益 (百万円)	8,732	30,812	13,521	33	3,091	1,524	2,687	47	299	
当期純利益 (百万円)	4,593	25,195	7,407	557	12,963	23,202	3,405	87	402	
1株当たり当期純利益 (円)	3.46	17.18	5.05	4.37	101.59	178.27	102.08	2.62	12.07	
1株当たり配当金 (円)	4.00	4.00	-	4.00	2.00	-	-	-	-	
1株当たり純資産 (円)	144.70	149.96	130.96	665.61	517.90	329.18	222.78	224.89	207.71	

注 1 松尾橋梁の「大株主および持株比率」は、平成 21 年 6 月 23 日現在の内容です。

(1) 商号	栗本橋梁エンジニアリング株式会社	株式会社クリモテクノス	株式会社イスミック
(2) 本店所在地	大阪府堺市堺区 大浜西町 2 番地の 2	大阪市住之江区 北加賀屋二丁目 11 番 8 号 北加賀屋千島ビル	東京都江東区 東陽五丁目 30 番 13 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 徳山 貴信	代表取締役社長 石瀬 治武	代表取締役社長 小島 治久
(4) 事業内容	橋梁の製造・販売	鋼構造物の工事、バルブ製品等の据付・修理工事・保守	水門および橋梁のメンテナンス
(5) 資本金	300 百万円	100 百万円	120 百万円
(6) 設立年月日	平成 19 年 4 月 17 日	昭和 61 年 11 月 15 日	昭和 62 年 10 月 1 日
(7) 発行済株式総数	40,001 株	10,000 株	2,400 株
(8) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日	3 月 31 日
(9) 従業員数	135 名(単体)	147 名(単体)	221 名(単体)
(10) 主要取引先	国土交通省(各地方整備局), 地方自治体, 名古屋高速道路公社, 広島高速道路公社, 福岡北九州高速道路公社, 東日本高速道路(株), 中日本高速道路(株), 西日本高速道路(株), 首都高速道路(株), 阪神高速道路(株)	国土交通省(各地方整備局), 東日本高速道路(株), 西日本高速道路(株), 各地方自治体	国土交通省(各地方整備局), 首都高速道路(株), 各地方公共団体
(11) 主要取引銀行	(株)みずほコーポレート銀行 (株)りそな銀行	(株)みずほ銀行 (株)りそな銀行	(株)みずほ銀行
(12) 大株主および持株比率	栗本 100%	栗本 94% 栗本商事(株) 6%	IHI 100%

(13) 当会社間関係等	上記のとおりです。								
(14) 最近 3 年間の業績	栗本エンジ(単体) (注 2)			クリモテクノス(単体)			イスミック(単体)		
決算期	19年 3月期	20年 3月期	21年 3月期	19年 3月期	20年 3月期	21年 3月期	19年 3月期	20年 3月期	21年 3月期
売上高 (百万円)	-	988	5,625	5,435	6,385	6,042	7,479	8,582	8,206
営業利益 (百万円)	-	1,213	294	65	52	113	47	91	43
経常利益 (百万円)	-	1,222	293	64	58	122	28	73	51
当期純利益 (百万円)	-	1,464	316	52	97	32	10	42	27
1株当たり当期純利益 (円)	-	36,592	7,899	5,195	9,740	3,251	4,167	17,500	11,250
1株当たり配当金 (円)	-	-	-	-	-	-	-	-	6,250
1株当たり純資産 (円)	-	43,193	35,293	44,902	54,642	57,893	57,500	75,417	86,667

注 2 栗本エンジは、平成 19 年 4 月 17 日設立であるため、平成 19 年 3 月期の経営成績および財務状態はございません。また、平成 20 年 3 月期は設立年度であるため、当該事業年度の会計期間は平成 19 年 4 月 17 日から平成 20 年 3 月 31 日であります。

5. 本件統合後の状況

(1) 本分割後の IHI の状況

商号、本店所在地、代表者、事業内容、資本金、決算期に変更はありません。

(2) 本事業譲渡後の栗本の状況

商号、本店所在地、代表者、事業内容、資本金、決算期に変更はありません。

(3) 本件統合後の松尾橋梁の状況

1 商号	平成 21 年 11 月 1 日付で、「株式会社 IHI インフラシステム」に変更する予定です。
2 本店所在地	変更はありません。
3 代表者の役職・氏名	未定です。
4 事業内容	橋梁、水門、鋼管、水管橋、沿岸海洋構造物等の設計、製造等
5 資本金	変更はありません。
6 決算期	変更はありません。
7 目標売上高	70,000 百万円（連結ベース）
8 主要生産拠点	大阪府堺市
9 国内営業拠点	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄

6. 会計処理の概要

本分割および本合併は、企業結合に係る会計基準上、共通支配下の取引に該当します。また、栗本エンジの株式譲渡および栗本グループの事業譲渡は、会計上の分類では取得に該当しますが、のれん（または負ののれん）の金額につきましては、現時点では未定です。

7. 今後の見通し

松尾橋梁は、コスト競争力と技術力の向上を図るとともに、技術開発力の向上や受注機会の拡大など本件統合によるシナジー効果を発揮して、橋梁・水門業界におけるトップクラスの地位確立と更なる成長戦略の実現を目指してまいります。

なお、本件統合による IHI の連結業績への影響については、現在精査中であり、判明次第速やかに開示いたします。また、栗本の連結業績への影響については、平成 21 年 8 月 11 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

(参考) 当期連結業績予想および前期連結実績

(単位：百万円)

		連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
IHI	平成 22 年 3 月期業績予想 (平成 21 年 8 月 3 日公表)	1,290,000	29,000	13,000	7,000
	平成 21 年 3 月期実績	1,388,042	25,679	13,521	7,407
栗本	平成 22 年 3 月期業績予想 (平成 21 年 8 月 11 日公表)	115,000	3,000	1,500	1,500
	平成 21 年 3 月期実績	158,563	2,589	1,524	23,202
松尾 橋梁	平成 22 年 3 月期業績予想 (平成 21 年 8 月 10 日公表)				
	平成 21 年 3 月期実績	19,074	331	299	402

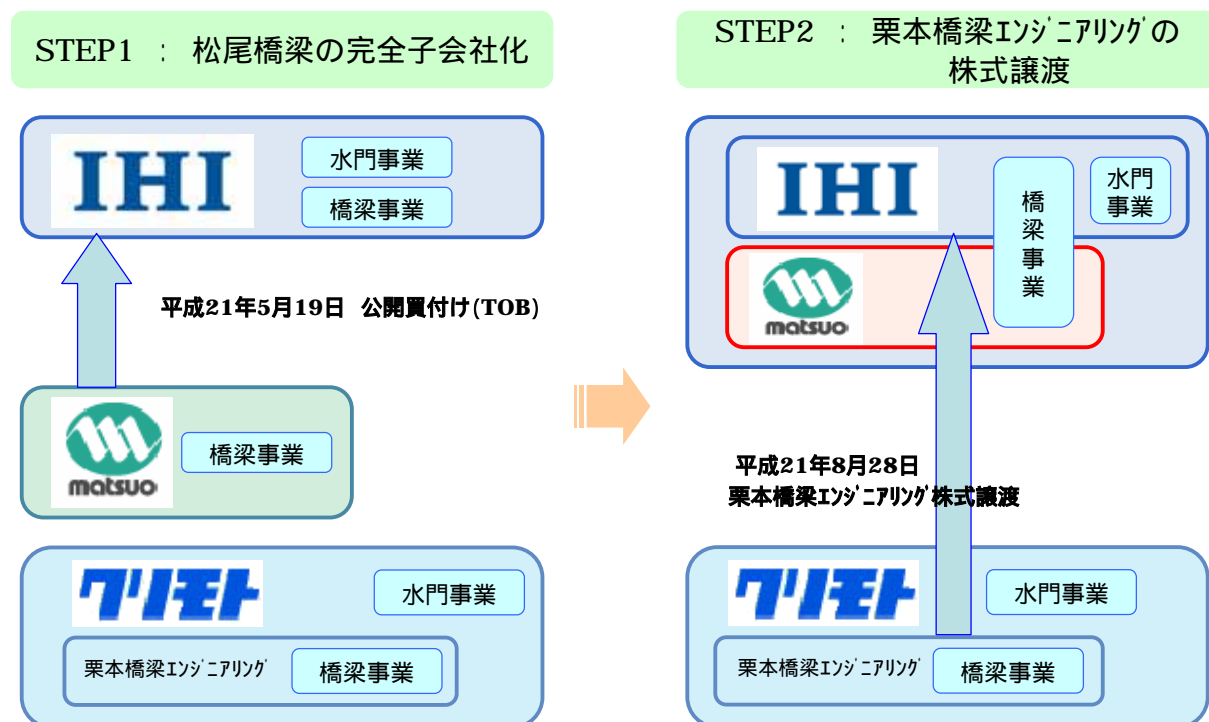
注 松尾橋梁の業績予想につきましては、平成 21 年 8 月 10 日付で公表しておりますとおり、本件統合による業績に与える影響が不確定であり、予測が困難であるため、記載を省略しております。

以 上

統合スケジュール

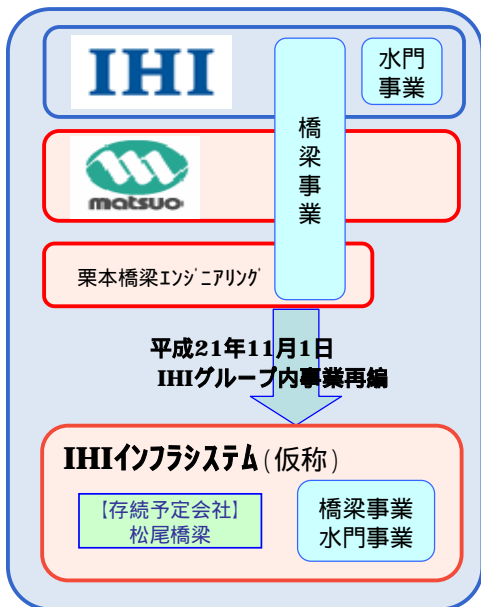
日程	イベント
平成 21年 5月 18日(月)	基本合意書締結
平成 21年 5月 19日(火)	IHIによる松尾橋梁への公開買付け開始
平成 21年 6月 16日(火)	IHIによる松尾橋梁への公開買付け終了
平成 21年 8月 24日(月)	最終契約締結(株式譲渡, 事業譲渡, 吸収分割)
平成 21年 8月 28日(金) 予定	IHIへ栗本橋梁エンジニアリングの株式譲渡, 合併契約締結
平成 21年 11月 1日(日) 予定	IHIによる橋梁・水門事業の松尾橋梁への吸収分割 松尾橋梁と栗本橋梁エンジニアリングの合併 松尾橋梁の社名を「IHIインフラシステム(仮称)」に変更
平成 22年 1月 1日(金) 予定	IHIインフラシステム(仮称)へ栗本鐵工所の水門事業譲渡 イスミックヘクリモテクノスの水門メンテナンス事業譲渡
平成 22年 3月 31日(水) 予定	イスミックヘクリモテクノスの橋梁メンテナンス事業譲渡 IHIインフラシステム(仮称)ヘクリモテクノスの裏面吸音板事業譲渡

事業統合ストラクチャー

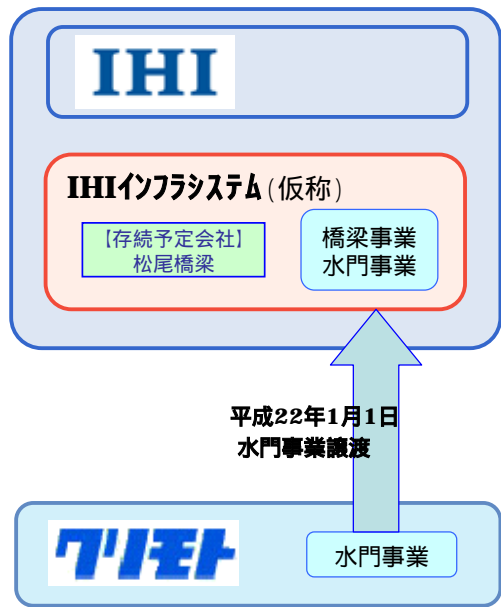


事業統合ストラクチャー(つづき)

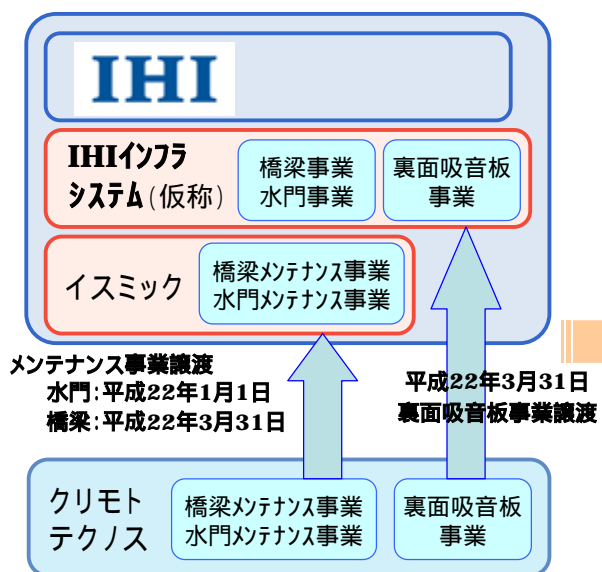
STEP3 : IHIグループ内事業再編



STEP4 : 水門事業の事業譲渡



STEP5 : メンテナンス会社再編等



統合会社のイメージ(平成22年4月1日時点)

